

研究発表会につなぐ授業を

ハイライト：

- 単元のねらいをふり返りましょう。
- 案浦先生の授業の指導内容と算数的活動
- 授業整理会は、次のように進めます。
- 公開授業と授業参観指導をつなぐ
- シンプルで、日常的に活用できる要録になります。

単元のねらいをふり返りましょう。

9/3に提出していただいた研究発表会の指導案を改めて見直しました。みなさんの指導案を見て感じたことは、先日の会議でお話ししたように、手だての工夫が中心になり、単元のねらいが曖昧になっているということです。

夏休みの指導案審議を受けて、先生方がたくさんの時間を費やして作成された指導案は、とても価値のあるものです。しかし、授業づくりにおいて、最も大切なことが曖昧になったまま、研究発表会に向けての授業づくりを進めていくことに対しては、とても危惧を感じています。

単元のねらいが曖昧になっている要因として、2つのことが挙げられます。

まず、1つ目は、研究テーマである「子どもの目が輝く学習」及び「聴き合い・語り合い活動」について、研究主任からの発信が不十分だったため、先生方が捉えている「めざす授業像」「めざす

子ども像」が曖昧になっていました。

2つ目は、講師の先生からの指導時間が短かったため、授業の手だてが中心の審議になってしまったことです。算数の審議では、「どんな問題にすればよいか」、「問題提示の方法はどうればよいか」「どんな算数的活動を行えばよいか」「どんな交流活動を仕組みればよいか」など、本時授業をイメージしながら、具体的な手だてについての指導に偏っていました。

久原小学校の授業づくりでめざしているものは、あくまで、学年の指導事項（指導内容）を確実に身に付けさせることです。そのために、評価規準を明確にした算数的活動や言語活動の工夫を行っているのです。

9月、10月に行う公開授業、授業参観指導、裏授業、空授業等では、常に単元のねらいに立ち戻りながら、授業づくりを進めていきましょう。

案浦先生の授業の指導内容と算数的活動

9月13日に1年1組で公開授業を行います。低学年部会の部研として行っていますが、授業は全職員で参観していきます。授業整理会は、1学期に行っていたKJ法ではなく、従来までの形式で進めていきます。これは、前述したように、「単元のねらいを明確して授業をつくる」という基本を改めて確認していくためです。講師として、福岡教育事務所の野口英世指導主事にご指導いただくことになっていますので、単元のねらいに基づいた協議を進めていきたいと思います。

今回の案浦先生の授業は、「3つのかずのけいさん」という単元です。指導内容は、3つの数の加減計算の仕方を考え理解すること、計算が確実にできること、計算を用いることとなります。その中で、計算の仕方を考え理解することに重点をおき、算数的活動として、計算の仕方をブロックを用いて表す活動が設定されています。2つの数の加法や減法をもとに、3つの数の計算の仕方を考え、ブロック操作で表現することができているか見取っていきたいと思います。

授業整理会は、次のようにすすめます。



授業整理会	
司会 (豊原)	記録 (小林)
於：会議室	
1 講師紹介 (校長)	15:20
2 協議	15:25~16:00
3 指導助言	16:00~16:30
福岡教育事務所 野口指導主事	
4 謝辞・まとめ (柴田)	
【参加者】	
校長・教務・案浦・小山・豊原	
小林・松原・野口・四元・半田	
田代・植田	

今回の研究通信のタイトルは「研究発表会につなぐ授業を」です。研究発表会で案浦先生が行う授業は、「ひき算(2)」の導入の時間となります。公開授業と同じように、ブロック操作を通して、計算の仕方を表現し、交流する場面を、聴き合い・語り合い活動として位置付けています。

公開授業を研究発表会につないでいくために、単元のねらいに応じた活動になりえているか、そして、子どもたちは、目を輝かせながら活動をすすめているか、協議を深めていきましょう。

公開授業・授業参観指導でつなぐ

研究発表会に
つなぐ授業を、
常に意識してい
きましょう。

研究発表会の1か月前にあたる10月上旬まで、公開授業と授業参観指導を計画しています。

キーワードは「研究発表会につなぐ授業を」です。それぞれの先生方が研究発表会で公開する授業を意識して、授業づくりをすすめていきましょう。

今、この時点で高めなければならない学び方は何なのか、先生方一人一人が課題意識をもって取り組んでいきましょう。当然、事前の学習活動も重要ですし、はげみの時間を利用したスキルも必要となってくるでしょう。今こそ、チーム力を発揮していきましょう。

公開授業	
9月19日(水)⑤	5年算数 川見
【安部指導主事】	
9月25日(火)④	3年国語 田代
⑤	5年国語 木原
【光延指導主事・今富先生】	
10月2日(火)④	1年国語 小山
⑤	6年国語 西田
【光延指導主事】	
授業参観指導	
9/20 植田	9/24 井上・四元・大穂
9/28 松原・江崎	10/1 小林・豊原
10/3 野口	

シンプルで、日常的に活用できる要録になります。

研究発表会で配布する要録には、先生方から作成していただいた指導案の他に、これまで久原小学校で積み重ねてきた研修内容や方法を載せ、そのよさを、たくさんの先生方に発信していきます。

しかし、たくさんの情報を入れて、分厚い冊子にするのではなく、大切なことだけを精選したシンプルで日常的に活用できる要録にしていきます。これまでの先生方の真摯な努力の成果をまとめて掲載させていただきます。

研究紀要の部分は、次のようにまとめています。

- 組織的な推進の在り方
 - ・研修方法、組織づくり、運営方法、成果課題、研究通信
- 研究主題の内容と方法
 - ・主題理由、意味、構想図、研究の実際
- 聴き合い・語り合いのポイント

研究要録も、久原小ならではのものになっていきます。